

学校を取り巻く現状について ～「令和の日本型学校教育」～

2025.5.21 学校規模適正化基本計画検討委員会（第三回）



「令和の日本型学校教育」とは

- ・ 令和3年1月に出された中央教育審議会
（＝文部科学省に設置された文部科学大臣の諮問機関）
の答申の中に登場した言葉
- ・ 2020年代を通じて実現を目指す学校教育
＝「令和の日本型学校教育」
⇒「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、
協働的な学び」



「令和の日本型学校教育」とは（2/2）



●急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

社会背景

【急激に変化する時代】

- ・ 社会の在り方が劇的に変わる
「Society5.0時代」の到来
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大など先行き不透明な
「予測困難な時代」

新学習指導要領の
着実な実施
→
ICTの活用

子供たちに育むべき資質・能力

一人一人の児童生徒が、**自分のよさや可能性を認識**するとともに、**あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働**しながら様々な社会的変化を乗り越え、**豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる**ことができるようにすることが必要

●日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて

「日本型学校教育」とは？

子供たちの知・徳・体を一体で育む学校教育

- 学習機会と学力の保障
- 全人的な発達・成長の保障
- 身体的・精神的な健康の保障

【成果】

- ・ 国際的にトップクラスの学力
- ・ 学力の地域格差の縮小
- ・ 規範意識・道徳心の高さ

【今日の学校が直面している課題】

- ・ 子供たちの多様化
- ・ 生徒の学習意欲の低下
- ・ 教師の長時間労働
- ・ 情報化への対応の遅れ
- ・ 少子化・人口減少の影響
- ・ 感染症への対応

【新しい動き】



「正解主義」「同調圧力」への
偏りからの脱却

一人一人の子供を主語にする
学校教育の実現

「日本型学校教育」の良さを受け継ぎ、更に発展させる
新しい時代の学校教育の実現



「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、
協働的な学びの実現～（答申）

令和3年1月26日
中央教育審議会

第Ⅰ部 総論

1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力
2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて
3. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿
4. 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性
5. 「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方

第Ⅱ部 各論

1. 幼児教育の質の向上について
2. 9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について
3. 新時代に対応した高等学校教育等の在り方について
4. 新時代の特別支援教育の在り方について
5. 増加する外国人児童生徒等への教育の在り方について
6. 遠隔・オンライン教育を含むICTを活用した学びの在り方について
7. 新時代の学びを支える環境整備について
8. 人口動態等を踏まえた学校運営や学校施設の在り方について
9. Society5.0時代における教師及び教職員組織の在り方について

文部科学省ホームページ

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（中教審第228号）

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm



「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

中央教育審議会

第10期初等中等教育分科会長 荒瀬 克己



独立行政法人教職員支援機構

独立行政法人教職員支援機構ホームページ

top > 動画教材 > 校内研修シリーズ > 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して：校内研修シリーズ No.94

<https://www.nits.go.jp/materials/intramural/094.html>





「令和の日本型学校教育」を推進する 学校の適正規模・適正配置の在り方に関する調査研究協力者会議



「令和の日本型学校教育」を推進する学校の適正規模・適正配置の在り方
に関する調査研究協力者会議の開催について

令和7年2月21日
初等中等教育局長決定

1. 趣旨

「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」(令和3年1月中央教育審議会)においては、ICTを必要不可欠なものとして効果的に活用しつつ、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実していくべきとしている。一方、我が国における少子化・人口減少は著しく、また、いわゆる教師不足も課題となっている。

上記の状況変化を踏まえつつ、「令和の日本型学校教育」を推進していくために必要な学校の適正規模・適正配置の在り方について調査研究する。

2. 主な検討事項

- 教育効果や通学負担、効果的な遠隔教育の実施等を踏まえた学校、学年、学級の適正規模、学校の適正配置の在り方
- 弾力的な学校配置を可能とする仕組み(通学支援、分校・寄宿舎の設置等)の在り方
- 効果的・効率的な学校の存立に資する工夫(他の公共施設との複合化、社会体育施設との共用化等)の在り方
- その他学校の適正規模・適正配置を推進する教育行財政の在り方(廃校の活用を含む)

3. 開催方法

- 別紙の者の協力を得て検討を行う。必要に応じ、別紙以外の者の協力も得て検討を行うことができる。
- 本会議は原則として公開する。ただし、公開することにより公平かつ中立な審議に支障を及ぼす恐れがあると認める場合は非公開とすることができる。

4. 開催期間

令和7年2月21日から、令和8年3月31日とする。

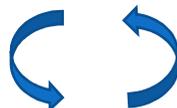
5. その他

- 本会議の庶務は、関係課等の協力を得て初等中等教育企画課において処理する。
- その他本会議の運営に関する事項は本会議において定める。

「令和の日本型学校教育」を推進する学校の
適正規模・適正配置の在り方に関する調査研究協力者会議

- 第1回【開催日時:令和7年3月5日(水曜日)10時00分～12時00分】
- 第2回【開催日時:令和7年3月26日(水曜日)10時00分～12時00分】
- 第3回【開催日時:令和7年4月21日(月曜日)15時00分～17時00分】

「令和の日本型学校教育」



の構築のために

学校の適正規模・適正配置の在り方

の検討が必要

文部科学省ホームページ

「令和の日本型学校教育」を推進する

学校の適正規模・適正配置の在り方に関する調査研究協力者会議

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/195/index.html

